

小学校 低 学年< 1 - (9) >

学 年	1 年	時 間	学級活動（帰りの会等の短学活で） 「大雨だ！」1年①	時 期	6月～7月 または適時	時 数	15分～20分
目 標	<ul style="list-style-type: none"> 大雨がもたらす大規模な災害によって、自分の身の回りに起こる災害の危険を知る。 大雨災害から、自分の命を守るための方法について理解し、安全に行動することができるようにする。 						
資 料・準 備	スライド(文科省・防災教育教材「災害から命を守るために」H20.3 低学年 気象災害「大雨だ！強風だ！かみなりだ！」)、白板または白模造紙、ワークシート						

展開

	学習活動と内容 主な発問・指示(◇) 予想される児童の反応(・)	指導上の留意点 支援(○) 評価(☆)
導 入	<p>1 大雨による気象災害について学習することを 知る。</p> <p>◇登下校時や遊びの行き帰りのときなどで、激しい 雨を経験したことはありますか。</p>	<p>○これまでに経験した大雨について話し合わせ、 それが気象災害につながることを説明する。</p> <p>○最近起こった大雨があれば思い出させる。登下 校時や遊びの行き帰り等、具体的な場面で思い 出させる。なかなか出ない場合、教師が引き出 す。</p>
展 開	<p>2 まちにいるとき大雨が降ったら、どんな危険 があるか、どのように身を守ればよいか考え る。</p> <p style="text-align: center;">スライド2-1-1を提示</p> <p>◇大雨が降っているとき、この絵の中のどなたこ ろが危ないと思いますか。見つけた人は、それは どこか教えてください。また、それはどうしてか 理由も発表してください。</p> <p>◇それでは、確かめてみましょう。</p> <p style="text-align: center;">スライド2-1-2を提示</p> <p>◇けがをしないために自分だったらどうしますか。</p> <p><共通></p> <ul style="list-style-type: none"> 用が無いときは外に出ない 一緒にいる大人の指示に従う <p><まちの中></p> <ul style="list-style-type: none"> 浸水しているときは足元に気を付ける 低い場所や地下のガレージや地下街に行かない。 	<p>○学校や地域の場所が、「まち」の部分が多いか 「山の近く」が多いかで①(1-9)と②(1-10)の どちらを先に扱うか決めるとよい。それによ り、導入の扱いが変わってくる。(多い方を先 に扱う)</p> <p>○準備した白板(移動白板)または白模造紙(黒 板に貼る)に、スライドを映す。(書き込みが 可能になる。)</p> <p>○スライドの絵のどこが危険だと思うか、理由も 一緒に考えさせ、見つけた児童に発表させる。</p> <p>○発表する児童には、前に出させて指示棒等で危 険箇所をさし示して理由も発表させる。</p> <p>○児童がさし示した危険箇所に、教師が丸印をつ け、残す。</p> <p>○次のスライドを見せて、主な危険を説明する。 場面は同じなので、同じ白板または白模造紙に 映す。</p> <p>○スライドの絵をヒントに、どんな身の守り方が あるか意見を引き出すようにする。</p> <p>☆予想される危険な事態について理解できたか。 ☆気象災害が自分の身の回りで起こることを理解でき たか。</p>
ま と め	<p>3 身を守るために大切なことを確認する。</p> <p>◇大雨のとき、どのようなことが大切なのか考え てみましょう。</p> <p style="text-align: center;">スライド2-1-3を提示</p>	<p>○大雨のときの対応を確認する。</p> <p>○気象の変化に気付いた場合は、安全に行動でき るように指導する。</p> <p>☆安全に行動しようとする意識が高まったか。</p>

関 連 する 教 科 ・ 領 域 等	短学活「大雨だ！」1年②
協 力 団 体	